

金日成首相によって確立された社会主義 経済管理体系について

——大安の事業体系を中心として——

朴 庸 坤

はじめに

金日成首相は、世界史発展の新しい段階とその必然的要求を反映して、確立したマルクス・レーニン主義の指導思想である主体思想によって、朝鮮の革命と建設を勝利へ導いた。

主体思想は国家活動のすべての分野で全面的に貫徹され、その生活力が実証されている。とりわけ、経済分野では主体思想にもとづく自立的民族経済建設路線を貫徹することによって、朝鮮では、かつて現代技術文明からとりのこされた植民地農業国から、14年間という短い期間に、現代的工業と発展した農業をもつ社会主義工業国へ転化し、社会主義完全勝利にむかって進んでいる。

経済にたいする指導管理問題は、経済建設の路線、政策を正しく樹立すると同時に、社会主義、共産主義建設の成果を左右する基本問題の一つとして、主権を掌握した労働者階級の党と国家が解決しなければならない根本問題の一つである。

周知のように、資本主義のもとでは生産力と生産関係の相互関係は自然発生的に形成され、ある一定の発展段階では矛盾と葛藤、生産力の破壊がその基本的内容をなしている。しかも、その矛盾は革命的暴力によって解決される。だが、このような解決の形態は資本主義制度の滅亡とともに永久に消滅する。これにたいし、社会主義社会のもとでは、たえず発展する生産力に照応して社会主義生産関係、社会主義経済管理体系を適時に、目的意識的に改造し、完成していかなければならない。

金日成首相は、主体思想と革命的大衆路線を経済にたいする指導と管理分野で具現することによって、歴史上はじめて大衆路線を礎石とする社会主義経済管理論を確立した。

金日成首相は、『青山里精神・青山里方法』を具現した工業管理としての大安の事業体系と新しい農業指導体系および計画の一元化・細部化理論を確立することによって、社会主義経済管理体系を全面的に確立した。

本論稿では、紙幅の都合上、工業管理としての大安の事業体系だけに言及したい。

1 大安の事業体系の本質

金日成首相は、大安の事業体系の本質についてつぎのようにのべた。

「大安の事業体系は、企業管理において大衆路線と科学性の原則を正しく具現し、古い資本主義的経済管理方法の残りかすを終極的に一掃した新しい社会主義的経済管理形態であります。大安の事業体系は、企業管理において上部と下部、生産者どうしのあいだでたがいに学び、教えあい、同志的に援助し、団結し、生産者大衆の高い革命的熱意に依拠して経済を管理し運営する共産主義的原則を大いに體現した企業管理形態であります。」¹⁾

金日成首相が指摘しているように、大安の事業体系の革命的本質は、経済管理で大衆路線を貫徹し、経済を科学的・合理的に管理運営することであり、資本主義的残りかすを終局的に清算し、共産主義的原則を體現していることである。

社会主義経済管理で、大衆路線を貫徹することは、金日成首相の経済管理論の核をなすものであり、大安の事業体系の基本的特徴である。それは、歴史を創造発展させる主体が生産者大衆であり、社会主義の主人が生産者大衆であり、共産主義建設の担当者もほかならぬ生産者大衆であるからで

1) 『金日成著作集』日本語版、第5巻、228頁

ある。

大安の事業体系は党の指導のもとに、経済管理で集団主義を保障し、生産者大衆を経済管理に積極的に参加させ、かれらの知恵と創造的積極性を発揮させ、それに依拠して経済を科学的、合理的に管理運営する体系である。大安の事業体系を一言でいうならば、生産者大衆による経済管理体系であるといえる。

社会主義のもとで、生産者大衆による経済管理の必然性は、まず、第一に、社会主義のもとでは労働者が生産の真の主人公であることと関連している。

金日成首相は、つぎのように指摘した。

「社会主義のもとでは、すべての生産手段が社会的所有となっており、工場、企業所がみな一つの国民経済体系のなかで、たがいに緊密な生産的連けいを結んでいます。したがって、社会主義のもとでは、党の指導のもとに、大衆路線を貫徹し、すべての勤労者が主人公らしく仕事をしなければ、経済を成功裏に管理運営することができません。」²⁾

経済管理は、がんらい生産手段の所有者が自己の生産の目的を実現するために、生産を組織し、指揮する機能である。社会主義のもとでは、勤労者が生産手段を所有し、国の主人になっている以上、かれらが経済管理の担当者にならざるをえない。もし、生産手段の所有者であり、生産の担当者である生産者大衆が経済管理に参加しなければ、かれらは、生産の主人ではなく、命令と指示に服従する雇傭者として行動するだけにおわるであろう。したがって、生産者大衆を経済管理に積極的に参加させ、経済管理をかれら自身の事業にさせることは、社会主義経済制度の本質からでてくる客観的必然性である。

第二に、社会主義、共産主義は、すべての生産者大衆の自覚と創造的労働によってのみ建設できることと関連している。

社会主義、共産主義建設は、勤労者を搾取と抑圧から解放するばかりでなく、苦しい労働からも

解放し、かれらに豊かで文化的な生活を保障し、共産主義的人間像をつくりあげる偉大な事業である。また、社会主義、共産主義建設は、人類がいまだ歩んだことのない道をきりひらきながら、社会生活のあらゆる領域で、革命的変革をよびおこす創造的な活動である。したがって、社会主義、共産主義建設は、もっぱら、歴史の創造者である勤労大衆が、これに意識的に参加することによってのみ達成される。

生産者大衆が経済管理の主人として、それに積極的に参加するとき、かれらは真の主人としての立場からたがいに協調し、自覚した熱意は一つに結合されて偉大な力を発揮し、生産の発展につとめる。したがって、生産大衆による経済管理は社会主義制度の本質的優越性を発揚させ、社会主義、共産主義建設で、大衆の創造的で、自覚した熱意を最大限に発揮させるための必須的要求である。

第三に、高度に組織化され、社会化された社会主義経済を急速に発展させなければならない事情と関連している。

いうまでもなく、社会主義経済は高度に組織化され、社会化された大規模生産である。それは、社会主義建設が進むにつれ、よりいっそう拡大される。このような条件のもとで支配人ひとりか、えられた何人かの知恵ではとうてい運営できない。社会主義経済は広はんな生産者大衆のつくることのない力と知恵によってのみ、科学的で合理的に管理することができる。それは、生産者大衆が生産の客観的実態、機械、原料、資材の状態、設備の能力など生産の全過程についてだれよりもよく知っているからである。

また、社会主義経済管理の重要な使命は、たえず拡大される生産成長の予備と可能性を最大限に動員利用することによって、生産のたかい成長を実現するところにある。だが、このような予備と可能性を動員利用するためには、生産者大衆に依拠しなければならない。なぜならば、生産者大衆を経済管理に参加させ、かれらの革命的熱意をたかめるとき、生産のたかいテンポを達成するのに必要な予備と可能性をのこらず動員利用することができるからである。

2) 『計画部門にたいする金日成同志の訓辞』 389～390頁

以上でみられるように、社会主義のもとで生産者大衆を経済管理に積極的に参加させ、かれらに依拠して経済を管理運営することは社会主義制度の本質に一致するりっぱな経済管理形態であり、社会主義経済管理体系発展の客観的要求をもっとも正確に具現した科学的経済管理体系である。

金日成首相は、また生産者大衆による経済管理を実現する大安の事業体系は、共産主義的要素を多く体现している経済管理体系であると指摘した。

大安の事業体系が共産主義的要素を多く体现しているということは、それが大衆路線を貫徹し、生産者大衆による経済管理を実現することによって、社会主義制度の本質にあうように経済制度を力強く推進する重要な要因になると同時に、将来、共産主義的経済管理への移行を準備するうえで、重要な意義をもっているところから表現されている。

では、大安の事業体系がもっている共産主義的要素とはどのようなものであろうか。

第一に、大安の事業体系は『一つは全体のために、全体は一つのために』という集団主義的、共産主義的生活原則が、全面的に具現されていることである。この事業体系では上部のひとが下部のひとをたすけ、すべてのひととすべての生産単位がたがいに助け、緊密に協力して社会主義的協同生産を發展させている。

第二に、大安の事業体系では勤労者の政治思想意識をたかめ、事業と生活で共産主義的原則を実現することによって、すべてのひとが自覚して労働する共産主義的態度が根ぶかく培養されていることである。

第三に、大安の事業体系では生産者大衆を経済管理に、全面的に、日常的に直接的に参加させることによって、大衆自身が直接経済を管理する共産主義的経済管理原則を実現できるようにした。

第四に、大安の事業体系は技術、文化、思想革命を力強く推進することによって、勤労者を多面的に發展した新しい型の人間に育成することである。

これらのことは、大安の事業体系こそ、人間が共産主義的に働き、生活する共産主義的経済管理

を体现していることをしめしている。

2. 大安の事業体系で解明された社会主義 経済管理の基本原則

金日成首相は、大安の事業体系の革命的本質を明らかにしたうえで、経済を管理運営する基本原則について、つぎのようにのべた。

「大安の事業体系は、工場、企業所が党委員会の集団的指導のもとに、すべての経営活動をおこない、政治活動を先行させ、生産者大衆をふるいたたせて、提起された経済課題を遂行し、上部が責任をもって下部を援助し、経済を科学的、合理的に管理し運営する社会主義制度の本質にかなったりっぱな経済管理体系であります。」³⁾

すなわち、大安の事業体系は、第一に、工場企業所が党委員会の集団的指導のもとに、すべての経営活動をおこなうことであり、第二に、政治活動を先行させ、生産者大衆をふるいたたせて提起された経済課題を遂行し、第三に、上部が下部を責任もってたすけ、第四に、経済を科学的、合理的に管理運営する経済管理体系である。

(1) 金日成首相は、経済管理における党委員会の集団的指導について、つぎのように指摘した。

「わが党は、古い企業管理方法である支配人唯一管理体制をなくして、党委員会をそれぞれの経済単位の最高指導機関と規定し、企業管理における党委員会の集団的指導体系をうちたてました。」⁴⁾

金日成首相は、社会主義建設の合法則性にかんする分析と社会主義建設を指導する過程で積みあげた実践的経験にもとづいて、はじめて社会主義経済を党委員会の集団的指導によって管理する体系をうちたてた。

レーニンによって樹立された支配人唯一管理体制では、現代的な大規模の社会主義経済をとうてい指導できないし、また、一人で生産管理のすべての問題に責任をもつ管理形態では、広はん大衆を生産と管理に主人として積極的に参加させ、自覚をたかめることができない。すなわち、社会主義経済管理で党の指導を保障するか、しないかは

3) 『金日成著作集』、日本語版、第5巻、227頁

4) 同上 第5巻、227頁

生産者大衆が経済管理に実質的に参加するかしないかの問題に関連しており、社会主義建設の運命にかんする根本問題である。

金日成首相は大安の事業体系で、党委員会を最高指導機関とする集団的指導体系を確立することによって、経済管理で党の指導を強化し、生産者大衆の集団的知恵と意思にもとづいて、経済を管理運営する原則と方法をあきらかにした。

社会主義経済管理で、党委員会の集団的指導とは、すべての単位の最高指導機関である党委員会が生産に直接責任もち、集団的協議にもとづいて、経済事業全般を組織指導することを意味する。

では、社会主義経済管理における党委員会の集団的指導の必然性はどこにあるだろうか。

それは、まず、プロレタリア独裁体系で政治的首領によって指導される党の位置と使命からうまれる。

金日成首相は、つぎのように指摘した。

「わが党は、わが人民の政治的首領である。わが党はわが国労働者階級のあらゆる組織のなかで最高の組織形態である。したがって、あらゆる組織がみな党の指導をうけることは動かすことのできない原則である。」⁵⁾

プロレタリア独裁体系で、首領の革命思想を指導思想とする党は、労働者階級をはじめとするすべての人民の指導的力量であり政治的参謀部である。国の運命と革命の終極的勝利は全面的に党の指導にかかっており、党が強化されその領導的役割をたかめることは革命と建設のすべての成果を左右する決定的条件である。とくに、社会主義における党は、政治、経済、軍事、文化のすべての部門と人民生活の全般的な分野で責任をもっている以上、経済建設を包含するすべての分野で党の指導をより強化しなければならない。

つぎに、党委員会の集団的指導の必要性は大衆路線を貫徹し、生産者大衆を経済管理に積極的に参加させ、かれらの自覚と積極性にもとづいて、経済を集団的、科学的に管理運営させる基本的条件になるからである。

ではなぜ、党委員会の集団的指導が社会主義経済管理で大衆路線を貫徹する基本的条件になるのであろうか。それは集団制を保障することによって、生産者大衆による経済管理を直接おこなうからである。

経済管理で集団制を保障することによって、個人の主観と独断からくる欠陥をなくし、大衆のかぎりない知恵と創造的意見にもとづいて大規模な社会主義経済を成功裏に管理運営していくことができる。このように、大衆の意見を総合し、組織し、実践に導くのは党である。したがって、社会主義経済管理で集団主義を保障するもっともすぐれた形態は党委員会の集団的指導である。

経済管理で党委員会の集団的指導を保障することによってのみ、社会主義のもとで作用する経済法則を正確に認識利用し、社会主義経済を科学的、合理的に発展させることができる。したがって、党委員会を強固にし、その集団的指導を強化し、経済にたいする行政的活動を指揮する役割を強化することは、社会主義経済管理一般を発展させるための必然的条件である。

(2) 金日成首相は政治活動を先行させ、ひととの活動を基本にし、経済を運営することが、社会主義経済を管理する基本原則の一つであると規定し、つぎのようにのべた。

「政治を先行させることは、すべての党員と大衆に、党政策を徹底的に認識させ、かれらが革命的課題を遂行する方法を大衆的に討論し、たかい政治的自覚をもって革命課題を実践するために、積極的に動員されるようにすることである。」⁶⁾

政治活動を優先させることは、生産者大衆に政治的首領の革命思想を具現した党の路線と政策の真髓を認識させ、みずから遂行する革命課題の目的をさとらせて、その遂行方法を創造的にさがしだす力強い手段である。

では、社会主義経済管理で、なぜ、政治活動を優先させなければならないのだろうか。

第一に、政治活動、ひととの活動を優先させることは、共産主義者の本質からくる活動方法で、

5) 『金日成著作選集』, 原文, 第2巻, 144頁

6) 『金日成著作選集』原文, 第2巻, 496頁

社会主義経済管理で大衆を動員するきわめて力強い方法であるからである。

共産主義者は人民の利益を擁護し、人民の幸福のために闘争し、そのために広はん人民大衆を目ざめさせ動員する。共産主義者は人民大衆を単純な労働力としてみるのではなく、社会の主人公として革命と建設の担当者とみなしている。したがって、共産主義者は人民に依拠し、かれらの自覚と革命的意識をよびおこす活動方法以外にありえない。このような活動方法は勤労大衆の革命的熱意と創意創造性をのこらず発揮する活動方法であり、社会主義経済管理で大衆を動員する力強い事業方法である。

第二に、社会主義経済管理で政治活動を先行させることは、勤労者の思想意識が生産を発展させるうえで決定的な意義をもつ事情とかんれんしている。

社会主義生産を発展させるうえで決定的な意義をもつのは、祖国と人民のために、自身の幸福のために、自己のあらゆる情熱と知恵をささげてたたく生産者大衆の崇高な思想である。生産とは自然を征服するための人間の闘争であり、この闘争で主人公は生産者大衆である。すなわち、労働力は生産のもっとも能動的で決定的な要因であり、機械や技術も人間によってつくられたものであり、発展する。したがって、生産の技術的装備が現代科学の最新成果にもとづいて高度に発展しているといえども、人間はつねに生産の主人公であり、生産を発展させるうえで、その思想意識が決定的な役割をはたすのである。とくに、勤労大衆が搾取と抑圧から解放され、生産と管理の真の主人になった社会主義のもとでは生産発展で生産者大衆の役割が、どの社会よりもくらべものにならないほどたかい。

だが、社会主義のもとでの勤労者の思想意識は、社会主義制度が樹立されたからといっておのずからたかまるものではない。なぜならば、人間の意識は一般的に社会の物質的生産の変化よりもたちおくれしており、したがって、古い思想は社会制度が変化したあとでも長い間残っているからである。だから、経済を管理するうえで生産者大衆の思想

意識をたかめ、かれらの自覚と創意性を発揮させるためには、政治活動を他のすべての活動に優先させなければならない。まさにここに、社会主義経済管理でなによりもまず、政治活動を優先させなければならない根拠がある。

したがって、大安の事業体系は経済管理で生産者大衆を全面的に積極的に参加させ、かれらの熱意を発揮させるすぐれた経済管理体系である。

(3) 金日成首相は、社会主義経済管理の重要な原則の一つである上部が下部を援助し、たがいに協調することについて、つぎのように指摘した。

「わが党は、省、局をはじめとする上級機関の幹部と企業所の管理幹部が生産現場におりていて、懸案となっている問題を適時に解決し、設備、資材をはじめ生産に必要なすべての物資を上部が責任をもって保障する整然とした体系をうちたてました。」⁷⁾

上部が下部を援助することは、上部機関と下部のひとが、責任をもって下部機関と下部のひとを政治思想的に、経済技術的に、物質的に援助し、生産に必要ないっさいの機械原料の供給を保障し、知っているひとが知らないひとを教え、たがいに同志的に協力し、あらゆる問題を解決することを意味する。

では、なぜ、社会主義経済を管理するうえで、上部が下部を援助し、たがいに協力しなければならないだろうか。

第一に、共同の目的と利益のためにたがいに団結し、協力する社会主義生産関係の本質的要求とかんれんしている。

社会主義における勤労者は同じ利害関係と一つの目的で結合されている。ここから社会主義のもとでは上部のひとと下部のひととの間、生産者相互間の関係は、単純に行政的な上下関係あるいは服従関係ではなく、同じ目的と理想を実現する同志的協調と相互援助の革命的関係にある。したがって、社会主義における同志的協調と相互援助の関係は、経済管理で上部機関が下部機関を、上部のひとが下部のひとを援助し、知っているひとが

7) 『金日成著作集』、日本語版、第5巻、227～228頁

知らないひとを助けるときにのみ、全面的に発揮できる。

第二に、すべての生産部門と単位が有機的な連関のなかで歩調をあわせなければならない社会主義的協同生産の要求と関連している。

社会主義のもとでは、人民経済のあらゆる部門と環はたがいに緊密に連結され、一つの統一体をなしている。したがって、社会主義社会ではおのおのの生産単位とすべての生産者の活動が歯車のようにかみ合い、共同の目的のために緊密に協調してのみ、一つの経済的有機体をなしている社会主義経済を円満に運営することができる。

社会主義的生産発展のこのような条件は、国家の中央集権的指導のもとに、経済機関が党の政策と経済発展の現実的条件にあうように協同生産を隙間なく組み、連関された環を計画的にかみあわせることによってのみ、はじめて成果的に実現される。同時に、それは上部で優秀な技術集団と物質的手段を動員し、下部をたすけ、困難な問題を解決することによって、円満に実現される。

第三に、経済建設を指導するうえで、官僚主義、形式主義を克服し、科学性を保障するための要求とかんれんしている。

下部の具体的実情を知らなければ、正しい指導ができないばかりか官僚主義、形式主義におちいる。上部のひとは金日成首相の思想、理論と国の全般的な経済事情にたいして、下部のひとよりよく知っており、政治思想的に、経済実務的によりよく準備されている。しかし、上部のひとは具体的な生産の現実については、下部のひとより知らない。したがって、上部のひとは生産現場においていき、大衆と相談し、現実をふかく調査し、懸案となっている問題を把握して、下部のひとを教え援助し、管理運営を正していかなければならない。また、現実のなかで、ひとを教え助ける過程を通じて、上部のひとが多くのことを学び、指導水準をたかめ、自身を革命化、労働者階級化することができる。

まさに、大安の事業体系では指導幹部が生産現場においていき、大衆を政治、思想的に動員し、大衆と協力して困難な問題を解決する基本原則が

確立された。

したがって、上部が下部をたすけることによって、生産者大衆を経営管理に積極的に参加させ、かれらの創意性を発揮させるためには官僚主義、機関本位主義、個人主義などをなくし、該当単位の党委員会の指導のもとに、上下が協力して下部の活動家をたすけ、困難な問題を解決しなければならない。

(4) 大安の事業体系は社会主義経済法則の要求と現代的な社会主義生産の経済技術的特徴にあうように、経済を科学的、合理的に管理運営する原則を具現している。

それは、大安の事業体系が広はん大衆の集団的知恵をたかく発揚させ、指導幹部が現実のなかにはいり、経済を指導管理することによって、それぞれの部門、それぞれの企業所で経済法則の客観的要求と党の政策的要求にあう正しい政策がたてられ、民主主義的中央集権制の原則にもとづく経済の計画的、均衡的発展が保障されるからである。

それは、また大安の事業体系が生産技術的指導を効果的に保障できる参謀体系をつうじて日常的に現実を調査し、大衆とともに生産技術問題を広はんに討議し、解決していくことによって生産を正確に指導できるからである。

さらに、経済を科学的、合理的に管理運営するためには、資材供給事業を保障することである。人民経済が国家の統一的で中央集権的指導によって計画的、均衡的に発展している社会主義における資材の供給は、国家によってそれぞれの生産単位に責任をもって計画的に供給され、合理的に利用されることを要求する。大安の事業体系では、大衆路線にもとづいて上部か下部に直接供給する新しい資材供給体系が確立された。

このように、大安の事業体系は生産過程で必然的に提起される計画、均衡、生産、技術、資材供給、財政など企業活動のすべての側面を統一的、科学的におこなう事業方法を解決した。

以上みられるように、金日成首相によって確立された生産者大衆による共産主義的経済管理の要求を多くもった大安の事業体系は、社会主義工業管理論の一大変革であり、新しい発展である。

3 大安の事業体系の優越性とその意義

金日成首相は、新たに確立された社会主義経済管理体系の優越性について、つぎのようにのべた。

「われわれは、実践的経験をつうじて、わが国に全面的に確立された社会主義経済管理体系が、マルクス・レーニン主義の革命的原則とわが国の具体的実情に完全に合致しており、社会主義経済制度をいっそう強化し発展させ、国の生産の発展を強力におしすすめる、もっともすぐれた経済管理体系であると大きな誇りをもって指摘することができます。」⁸⁾

金日成首相が規定しているように、それは、まず、社会主義制度をより強固に発展させるところにある。

新しい社会主義経済管理体系は社会主義経済建設で、勤労者の同志的協調と団結を強化し、たがいに助けあい、社会主義建設のためにあらゆる創造的積極性と労力的熱意を発揮してたたかう強力な武器になった。新しい経済管理体系は人民経済すべての部門で、全人民的所有の指導的役割をたかめ、協同的所有を全人民的所有の水準にたかめる役割をはたすと同時に、人民経済を計画的、均衡的に発展させることによって社会主義経済制度をいっそう強固にした。

つぎに、新しい経済管理体系の優越性は生産力を急速に発展させるところにある。

それは、現存の経済的基礎と生産の潜在力を最大限に利用できるようにし、技術革命を促進し、社会主義の物質的・技術的土台を成功裏に築成できるようにするからである。それはまた、朝鮮の工業生産の現実的発展がこれを実証している。

新しい社会主義経済管理体系の確立がもつ意義は、第一に、経済管理で社会主義経済諸法則の要求をもっとも正確に実現し、政治道徳的刺激と物質的刺激、中央集権化と民主主義を正しく結合し、経済管理で大衆の尽きることのない創意性を十二分に発揚させた点である。

第二に、経済管理で左右の日和見主義的偏向を完全に克服し、経済管理にかんするマルクス・レーニン主義理論を新しいたかい段階に発展させた点である。

金日成首相は、つぎのようにのべた。

「われわれは、経済管理において社会主義社会の過渡的性格を無視する極左的偏向と政治的・道徳的刺激を軽視し、物質的関心を前面に押しだし、経済指導において地方分権化と企業の自由化の方向に進もうとする右翼的見解を完全に克服することができるようになりました。」⁹⁾

金日成首相が指摘しているように、経済管理にたいする極左的偏向の本質は、社会主義社会の過渡的性格を無視するところにある。

過渡的社会である社会主義社会の特徴は、経済管理で、政治、道徳的刺激とともに物質的関心を結合させる原則を堅持し、価値法則も計画的に利用されることを要求する。

しかし、極左的偏向は政治道徳的刺激の一面性を強調し、物質的関心の原則を無視し、商品貨幣関係と価値法則の作用を計画的に利用することを副次的にみるのである。これは社会主義経済建設に深刻な損失をあたえる。

商品生産と価値法則の作用を無視し、原価と価格など経済的槓杆を正しく利用しなければ企業管理を合理化できないし、多くの生産手段と労力を浪費する結果をもたらす。

経済管理で右翼的見解は政治、道徳的刺激を軽視し、物質的刺激を前面におし出しながら、経済指導で地方分権化と企業の自由化の方向に進もうとするところにあらわれている。

今日、現代修正主義は物質的刺激を社会主義経済管理運営の基本方法にしている。

現代修正主義は、社会主義のもとでも利潤や価格のような経済的槓杆をつうじて、物質的刺激を強化するいわゆる「経済的方法」によって、社会主義企業所を管理運営し、生産を拡大できると主張しながら、利潤、収益性を絶対化している。

利潤、収益性を絶対化し、物質的刺激を前面に

8) 『金日成著作集』日本語版、第5巻、230頁

9) 『金日成著作集』日本語版、第5巻、230～231頁

おしだすことは、マルクス・レーニン主義とはなんらの関連もない資本家的観点である。そもそも利潤は資本主義社会にのみ固有な基本的経済法則を表現する経済学的範疇である。

利潤をつうじて物質的刺激を前面におしだすかれらの見解のあやまりは、社会主義のもとでの利潤と収益性を資本家的観点から考察しながら、生産発展の原動力を利潤による物質的刺激にもとめるところにある。

現代修正主義はまた、社会主義のもとでの価値法則の意義を過大評価し、経済管理で国家の中央集権的指導原則を拒否し、企業所活動の「独自性」と「自由化」を主張している。

もし、社会主義のもとで価値法則の意義を過大評価し、地方分権化と企業の自由化方向に進むならば、経済管理で盲目性と自然発生的傾向を助長し、経済運営で混乱をひきおこし、経済を計画的に発展させることのできない重大な結果をもたらすであろう。

金日成首相による社会主義経済管理体系の確立は、このような左右日和見主義的偏向を克服し、マルクス・レーニン主義の純潔性を固守することができた。金日成首相によって確立された社会主義経済管理論は、レーニン、スターリンのそれが主として社会主義制度が全面的に確立される以前

の歴史的条件を反映したものとすれば、社会主義制度が確立し、社会主義経済法則が全面的に作用する環境に即応するものであり、マルクス・レーニン主義経済管理論をより高い水準に発展させたものである。

むすび

以上みたように、金日成首相は社会主義経済管理の本質と内容を科学的に解明した。すなわち、経済管理で大衆路線を貫徹することが社会主義経済管理の根本的な礎石であることを明らかにし、経済にたいする党の指導、上部の下部にたいする指導、農業にたいする企業的指導、経済指導における民主主義中央集権の原則にもとづく計画活動の保障など、社会主義経済管理の基本原則と生産のための資材供給の保障問題にいたるまで経済管理の全般的分野にわたる問題について理論的解明をあたえた。こうして、大衆路線をつらぬく社会主義経済学が体系化され、完成されていった。

このようなふかい内容をもつ金日成首相の経済管理論について十分な解明がなされなかったし、ことに、新しい農業指導体系と計画の一元化と細部化を統一的に論及することができなかつた。後日、このような欠陥をおぎないたい。

(朝鮮大学校政経学部)